



伊勢市教育研究所

# たより



## <第11号>

http://www.ise-mie.ed.jp/~kenkyusyo  
E-mail:kyo-kenkyu@city.ise.mie.jp

平成31年1月31日  
伊勢市教育研究所  
伊勢市桜木町55-1(旧さくらぎ保育所)

### 第2回不登校対策ハーモニーハート研修会 開催



1月15日(火)第2回不登校対策ハーモニーハート研修会を開催しました。

今年度の研修会テーマは「**不登校児童生徒の保護者への具体的な支援方法について**」です。前半に伊勢市教育研究所研修員 東端志野より「不登校の子どもたちの未来支援を考える～教育支援センターでのかかわりの中から見えてきたこと～」というテーマで研究報告を行い、後半は講師として瀬戸美奈子先生(三重大学教育学部教授)をお迎えし「不登校児童生徒へのチーム援助の実践 ～保護者とともに～」という演題でご講演いただきました。



講演では、瀬戸先生に「**ものごとをとらえる視点**」についてお話しいただいた後、グループに分かれて「さらに必要な情報は何か」について話し合い、「保護者」と「担任の先生」という設定でロールプレイを行いました。

#### 【瀬戸先生より】

- **ものごとをとらえる視点**…ものごとは、人によってとらえ方が違う。経験、知識、文化で作られる視点。『自分のメガネ』でものごとを見ていないか。
- **子ども・保護者をとらえる視点**…経験が思い込みを強固にする。自分の思い込みを疑う必要がある。
- **価値観の違いを楽しむ**…価値観の共有は難しい。自分とどこが違うのかに着目し、面白さを感じるぐらいがよい。
- **保護者は自分と違って当然**…学校側が理想の保護者を求めてしまうと、そこからうまくいかなくなる。

#### <保護者を含むチーム援助のコツ(一部抜粋)>

- ・保護者の思いや方針、抵抗感や不安感を理解する。
- ・保護者のヨロイ(プライド)を大切にする。  
→保護者のヨロイを無理にはがそうとしない。
- ・保護者が「できること」をやってもらおう。  
→実現が難しいことを要望するのではなく、「こんなことはどうですか?」と提案してみる。
- ・教師と保護者以外の第三者も必要に応じて活用する。
- ・「困った子ども」扱いをしない。



人はみんな…  
『**自分のメガネ**』をかけている。物の見方をちょっと自分が変えれば新しいことが見えてくる!

Best より  
**Better** な援助を!  
大人のメンツは  
つぶさないこと!

#### <アンケートより>

- ・担任の支援の方法をおしつけるのではなく、「どうですか?」と保護者と相談しながらすすめていくことが必要だと思った。
- ・保護者とチームになることの大切さを学びました。今まで価値観の違いに悩むこともありましたが、違うからこそ、よりよい方法を見つけられると信じてがんばっていきます。
- ・知らず知らずのうちに、「こうあってほしい」「これをしてほしい」と求めてしまっている自分がいたことに気がきました。
- ・本心を見せてほしいがために、保護者の抵抗感に気付かないで、ひとりよがりですりすぎしてしまうところが今までの自分にあつたのではないかと振り返るよい機会になりました。



今年度、研修会に参加いただいた先生方のご意見を参考にさせていただき、来年度もさらに実践に生かせる内容で研修会を開催したいと考えます。





## 「教育支援センターNEST」体験活動

★10月～12月の子どもたちの様子から★



伊勢市教育支援センターNESTでは、通級児童生徒が新たなことに挑戦したり、仲間との交流を深めたりしながら、「こんなことができた!」「とても楽しい!」と心から感じ、自信をもつことができることを願って、様々な体験活動を行っています。

### ■ 10月 絵手紙教室② 会場:NEST 沼木 ■

柴田さんを講師としてお招きし、5月の暑中見舞いはがき作成に続き、『絵手紙教室②～ハロウィンのはがきを作ろう～』を行いました。「自分は絵に自信がなかったけれど、『下手でいい、下手がいい』」と先生が言ってくださったので、気楽にすることができて、とても楽しかったです。」という感想がありました。個性豊かな絵手紙ができあがり、満足な様子でした。



### ■ 11月 トンボ玉作り 会場:伊勢まなび高校 ■



伊勢まなび高校の先生方に教えていただきながら、トンボ玉作りに挑戦しました。「高温の火を扱ったり、その火でガラスを溶かしたりなど、普段めったにしない体験をさせていただきました。熱したガラスが割れたりして大変でしたが、とても楽しい1日になりました。」という感想のとおり、苦戦しながらもきれいな色のトンボ玉がたくさんできました。

### ■ 11月 みかん狩り 会場:ないぜしぜん村 ■

南伊勢町の『ないぜしぜん村』でみかん狩りを体験しました。

「おいしいみかんを食べたり、山の上で弁当を食べたり、楽しかったです。」という感想があったとおり、子どもたちは仲間とコミュニケーションをとりながら、笑顔いっぱい活動しました。

五ヶ所湾に面した畑で、みかんをほお張りながら、家へのお土産用のカゴにたくさん詰め込んでいる姿が微笑ましかったです。



### ■ 12月 調理体験 会場:まごの店 ■



五桂池ふるさと村にある『まごの店』で、相可高校食物調理科のみなさんにクリスマス料理とロールケーキの作り方を教えていただきました。保護者の方にも参加いただき、温かい雰囲気の中で体験が進みました。食物調理科の高校生のみなさんは、手早く作業をこなすだけでなく、子どもたちの手元にも細やかに目配りをしてくださいました。「まごころ」のこもった指導に感激しました。トレイに盛り付けた豪華なクリスマス料理とかわいい箱に入れたロールケーキをそれぞれがもち帰ることができ、貴重な体験になりました。

どの体験活動でも、子どもたちの笑顔をたくさん見ることができ、スタッフ一同嬉しく思っています。これからも、子どもたちの心をほぐし、次の一歩を踏み出すきっかけになるような活動を取り入れていきたいと考えます。

